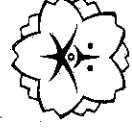


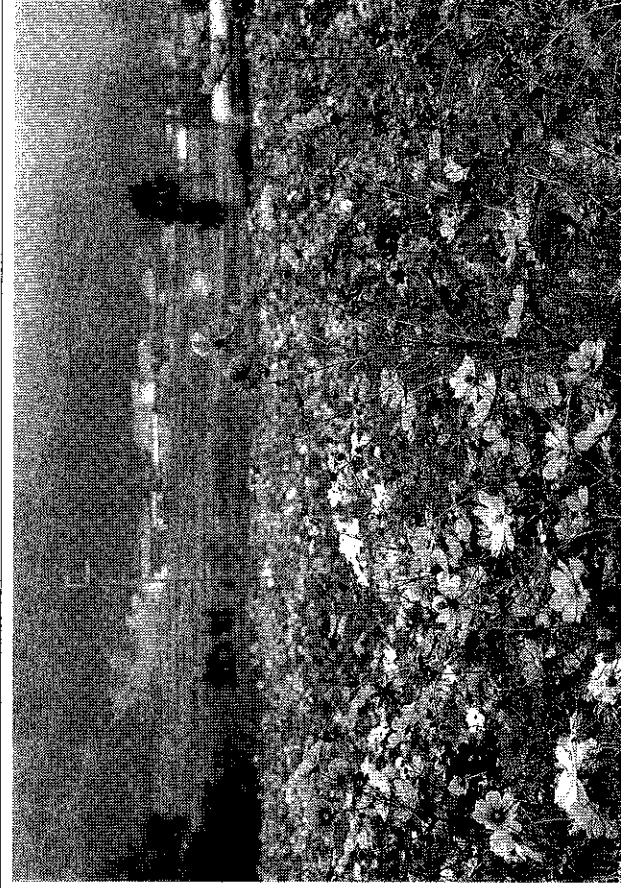
No.32

発行/奈良市議会
編集/奈良市議会だより
編集委員 会

奈良市議会だより



〒630 奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎ (0742) 34-4734



赤・白・桃と一面に咲くコスモス（阪原町で）

西田前市長により招集された九月定例会の初日には、招集あいさつで、非核平和都市宣言都市のシンボルである平和モニュメントが市役所前庭に完成し、八月十五日に除幕式を行った。建設には、六百四十四件、約九万三千名から二千九十万三千円の寄付が寄せられたこと、またこれら寄

九月定例会

◆◆◆ 平成四年九月定例会は、九月二十四日に開会し、十月六日までの十三日間の会期で開きました。この定例会では、会期中の二十七日に任期が満了した西田栄三前市長の退任あいさつがあり、また、西田前市長から後継指名を受け、九月二十日の市長選挙で初当選を果たした大川靖則新市長が「やさしさふれあいのあるまちづくり」を基本理念とし、「人にやさしく」「事にやさしく」「物にやさしく」の三つの柱によって市政を進めてまいりたいとの所信を表明しました。◆◆◆

やさしさふれあいのあるまちづくり

大川新市長が所信を表明

大川市政

三つの柱

人にやさしく
事にやさしく
物にやさしく

大川新市長は、本会議で所信表明を行い「やさしさふれあいのあるまちづくり」を基本理念に掲げ、一、人にやさしく、二、事にやさしく、三、物にやさしくの三つの柱により市政を進めてまいりたい。つまり、お年寄りや障害者に優しく、また社会的に恵まれない方々に手を差し伸べ、

付された方々の芳名録を作成し、台座の中に永久保存したこと、ニュー・サウス・ウエールズ州から野鳥の森にいただいた珍鳥の愛称を、市民公募の結果、市立高門保育園児の案を採用し、アカエリゴシキセイガイが「アイ」ちゃん、モモイロインコが「ラブ」ちゃん、クルマサカオウムが「ユウ」ちゃん、合わせてアイ・ラブ・ユウと命名したこと、ごみの分別収集について、空き缶やガラス瓶を市が直接分別収集するリサイクルシステムの確立を考えていることなど市政についての報告がありました。今定例会では、会期中の九月二十七日に任期が満了した西田前市長の退任あいさつがあり、浅川清一議長が送ることは述べました。また、二十八日に就任した大川新市長は、「やさしさふれあいのあるまちづくり」を基本理念に市政を進めたいとの所信を述べました。また、報告三件、議案十六件を審議し、六人の議員が質疑・一般質問を行い、平成三年度水道事業会計決算の認定についてなど決算の認定三件については、公営企業決算特別委員会を設置して付託し審査した結果、すべて原案どおり可決、認定しました。この外、議員提案の意見書一件についても原案どおり可決して閉会しました。

市政の流れは大江のごとく

西田前市長退任あいさつ

西田前市長は、昭和二十一年九月に奈良市に奉職以来四十六年間市職員としてまた特別職として、微力ながらも奈良市発展のために誠心誠意努力してきました。今、退任に当たり、過去のいろいろなことが想起され感慨無量である。昭和五十九年九月から二期八年市政を預らせていただき

いたが、健康上の理由により三期目の立候補を断念し、その任期を満了させていただくことになった。まちづくりというものは初めなく終わりなきものである。種をまく者、育てる者、咲きでる花をめぐる者、結実を祝う者、皆それぞれめぐり合わせというものである。「市政の流れは大江た

シルク博の功績大きい 議長が送ることば

また、西田前市長の退任に当たり、議長から、昭和五十九年九月、「このまちに住んで良かった。また子供たちがこのまちに生まれて良かった」と言えるようなまちづくりを目標として西田市政がスタートした。以来二期八年間に、J・R奈良駅周辺都市拠点整備事業、奈良町の整備保存などの都市機能の整備やJ・R線連続立体事業の推進、都市景観条例の制定、建築文化賞の創設、ボランティア活動を通しての地域福祉や在宅福祉の増進、野鳥の森の建設など福祉都市としての環境整備、まちづくりシンポジウムの開催など市民参加のまちづくり、ごみの分別収集やリサイクルの推進などに力を注がれてきた。中でも市や県の活性化をもたらした「なら・シルクロード博」に尽力された功績を忘れることはできない。奈良のまちは、西田前市長が樹立された新総合計画の、歴史と自然と生活文化が織りなす創造と交流の世界都市として完成されていくものと確信する。二期八年間本当に御

いこうのごとく」であり、その一部を担当させていただき、今、前助役の大川氏に引き継がんとしている。歴史ある奈良市発展のため議員並びに市民の皆様が新市長に御協力を賜りますようお願い申し上げます、と述べられました。

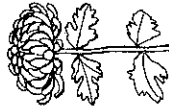
苦勞さまでした、と送ることばを述べました。

意見書

今定例会で可決し、政府に提出した意見書の要旨は次のとおりです。
▽関西国際空港との鉄道アクセスの確保に関する意見書
関西国際空港の開港を目前に、関西本線・阪和線等を経由する直通列車の運行をするよう強く要望。

陳情

今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
▽天皇陛下の政治利用に反対する決議及び現時点における中国御訪問に反対する決議を求める陳情書
陳情者 〃



橋本浩行氏

答 弁

行政姿勢

的確な情報提供で 市民参加の行政を

問 選挙は最大の市民参加と言えるが市長選は史上最低の投票率であった。市政運営の基本とも言うべき、行政への市民参加について今後四年間どのような姿勢で臨むのか。また国民に政治不信が拡大

しつつある今、政治倫理条例についてどう考えるか。
答 基本的には、清潔・公正かつ市民参加による計画的な市政の推進という西田前市長の路線を継承させていただく。市民の皆さんには、あらゆる機会をとらえ、行政に参加いただき、意見を反映させていただきたい。そのために市民ニーズに合った市政に関する正しい情報を、正確に、的確に、迅速に提供するように努める。また市民参加によるシンポジウム等も回を重ねて行いたい。
政治倫理条例については、プライバシーの保護等制度上十分検討させていただかなければならないと思う。

市の課題弱点見て 推進施策の確立を

問 新市長の所信表明は柔

本 会 議

今後の政治姿勢や基本方針 大川新市長の所信を受けて

十月二日、五日に開かれた本会議では、六人の議員が質疑・一般質問を行いました。各議員は、さきに所信を表明された大川新市長に対し、今後の政治姿勢や基本方針、また、教育、福祉、環境保全などの諸施策について質問しました。以下は、その質問と答弁の要旨です。

軟性に富む一方で、めり張りが無いとも言える。新市長が推進する施策の確立が望まれるが、そのために、奈良市の克服すべき課題、弱点を見きわめ、自分の主張を入れた改善プログラムを内外に示す必要があるのではないか。

答 前市長の路線を継承していくが、時宜に応じた見直しもやっていかなければならない。しかし、新総合計画を策定して二年目でもあるので大筋としては新総合計画に基づいた基本計画による予算編成を行い、全力を投じてまいりたい。

行政は最大のビジネス 人材の育成図れ

問 行政は市民に対する最大のサービス業である。縦割り行政を廃し、プロジェクトに応じた人材を集めふさわしい組織体を作る必要がある。行政改革、民間企業への出向等人材の育成と活用をどう進めるのか。

答 行政改革は市民のニーズに応じた形で市民サービスを中心にやらねばならない。

競輪場をどうする 西大寺周辺の将来

問 西大寺周辺に文化施設建設の期待が高まっている。また将来奈良の副都心としてさらに発展が期待されるが、競輪場をどうするのか。

答 文化施設については、西大寺南土地区画整理事業の保留地で考えていきたい。また競輪場は県が使用しており、県の施設でもある、もし県が廃止するとすれば、市からいち早く文化施設等についての要望をしたい。

第三セクを再検討

問 県、市協調と言われるが、政策に矛盾、対立が出てきていないか。中国文化村に県は直接出資でなく、なら・シルクロード博記念国際交流財団から出資している。第三セクターのありようも再検討すべきではないか、また、世界建築博は、文化、芸術、商工業、環境などを含めたものとすべきであると考えているが、名称も含め見直す必要があるのではないか。

答 県と市との関係は今日までお互い協調性を持ってやっていた。これからも県の指導をいただきながら京都奈良の充実発展のため努力したい。中国文化村については第一期分の用地がほぼ買収され、近く開発行為の許可の見通し

である。第三セクターについては、これから関係機関に呼びかけ、充実していきたい。また建築博については、世界建築博ということでスタートし、既に県、文化庁、建設省の後援を得て第一回トリエンナーレも開催しており、このまま続けたい。

文化財総合機構 誘致を働きかける

問 本年九月県は、関西文化学術研究都市の平城宮跡地

区に誘致を進めている国立文化財総合機構の構想を発表した。これに対する市の取り組みと、文化庁の誘致について考えを聞きたい。

答 文化財の宝庫と言われる平城宮跡を「古代文化ゾーン」と位置づけ、文化財を調査研究する総合的機構を建設する必要がありと考えており、県と歩調を合わせ早期実現に向けて積極的に働きかけていきたい。文化庁の誘致については、一極集中是正のためにも、県に強く働きかけたい。

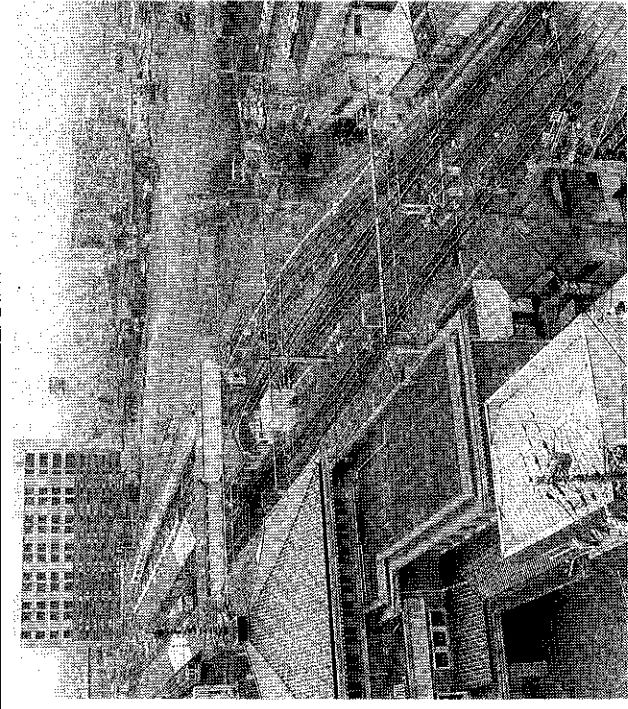
都市整備

都市拠点総合整備事業

今後の進捗見通しは

問 J R奈良駅周辺整備は世界建築博覧会を一つの目標に進捗を図る必要があると考えるが今後どのような方針で取り組むのか。また第一街区の市街地再開発事業の組合設

立のめどはどうか。
答 都市拠点総合整備事業の一環としての「コミュニティ住宅」が完成し、移転補償交渉の態勢が整った。現在土地区画整理事業による基礎整備



整備が進む J R 奈良駅周辺

を鋭意進めている。その他の事業についても早期に進捗を図るよう努め、博覧会の開催時点では概成を見るべく努力する。

再開発組合設立については、今年一月に都市計画決定を行い、地権者の同意の取りまとめを行ってきた。現在八〇%刻も早く全員の同意が得られるよう準備組合を支援していく。組合設立の見通しは、本年末をめどに進めている。

景観

保全に万全期す 歴史遺産大切に

問 J R奈良駅前のコミュニティ住宅は、西ノ京大池からの遠景景観に影響が出ている。今後さらに四十階の高さの建物が建設される予定だが、植樹などで保護できないか。また景観づくりを専門的に取り組む「都市景観課」の設置や奈良の町並み百選などを選び、町並みを整備することなども考えてはどうか。

答 コミュニティ住宅については、国郡審や景観審議会などで再三御検討いただき了承をいただいている。最高が四十階になるということによって、さらに見えなくなるということで、今後どうすべきか課題とさせていきたい。景観づくりについては、歴史遺産を大切に、景観保全に万全を期したい。町並み百選などにも取り組む「景観課」についても検討したい。

経 済

地元経済の活性化 コンベンションの充実で

問 奈良県の県外就職率が全国一を示すように県及び本市の経済基盤は大変低い。今後の経済活性化に対する考えは。

答 平成元年十一月、県、市、商工会議所及び会員により、積極的なコンベンションの誘致や支援を行い、地域経済の発展に寄与させる目的で「奈良コンベンションビューロー」を設立した。本年一月には運輸省の国際コンベンション・シティーの指定も受けたので、これを契機に財団法人化の検討を進めていきたい。国内外の多くの人々に奈良へ来ていただき、地域の振興と国際化の進展を図りたい。そうすることが地域経済の活性化をもたらすものと考えている。

マリオチャントに駐車場

問 昨年オープンしたマリオチャントシードセンターの現在までの活動状況はどうか。また駐車場設置計画はないか。

答 事業としては、商業経営活性化セミナー、人材育成のための商人塾、パソコン・ワープロ教室、商業経営相談などを行い、今年八月までに延べ約三万五千人を超える利用があった。今後も魅力ある情報の提供や活性化策の提案を積極的に進めてまいりたい。また周辺での駐車場の設置は困難な状況だが、一層の利用を図るためにも検討していかなければならない。

教育

学校週五日制順調にスタート

野外活動センター整備充実

問 九月十二日スタートした月一回の学校週五日制について、当日の表情と今後の課題、見通しを聞きたい。また、受け皿として整備の必要性が高まっている青少年野外活動センターの整備計画は。

答 九月十二日は、各小学校区の実施推進協議会の活動を利用した児童は市全体で百七十四人であった。子供を家庭や地域に返すという趣旨からは順調なスタートであった。今後の課題は、各小学校区の実施推進協議会の活動をどう発展させるか、子供たちの校外活動の促進をどう図るか、不測の事態への対応などがある。今後は、平成六年度からは月一回に移行すると見ている。

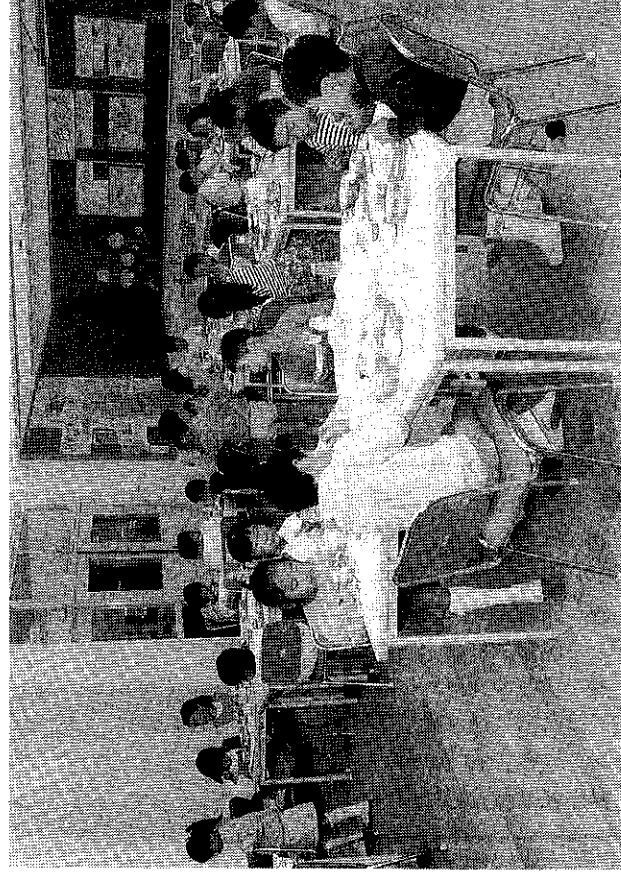
また、野外活動センターについては、各種野外活動施設やスポーツ施設の増設と、利用者の定員増を図り年間を通して利用できる施設にしたい。第一期工事として平成五年度から六年度にかけてキャンプサイトを整備し、引き続きスポーツ施設の整備を図ってきたい。

余裕教室の利用は

問 全国的な出生率の低下などを背景に児童、生徒数が減少してきたが、本市の状況はどうか。小・中学校の余裕教室の状況と今後の利用方法はどうか。

答 今年度小学生は二万四

千八百二十八人、中学生は一万三千四百三十人で、三年前と比べると小学生で八・六%、中学生で一〇・八%減少している。平成七年度には今年度



ランチルームで楽しい給食（鳥見小学校）

環境保全

深刻化する排ガス汚染

健康調査が必要では

問 大宮小学校に県が設置している自動車排ガス測定局での平成二年度の測定結果は、二酸化窒素の一日平均値は〇・〇四八ppmで環境基準の〇・〇六ppm以下になっているが、年平均値は〇・〇三二ppmである。環境庁では一日平均値で定められた環境基準

ppmにおおむね相当するとされている。環境基準は達成しているものの大宮小学校での年平均値は安心できない。市民の健康を守るということから、環境庁の調査票による健康調査を実施してもらいたい。

答 二酸化窒素の大部分は車の排気ガスによる。現在、基礎資料を得るため、窒素酸化物については市街地で十九

カ所、東部地域で十一カ所測定を行い、交通量の多い交差点五カ所においてもデータを取得するため調査している。これらのデータはいずれも環境基準は達成しているが、今後、国、県の調査結果、動向等を踏まえて対処したい。

大宮小学校での値も環境基準は達成しているが、増加の傾向にあることから、不要不急の自動車の自粛等を市民だより等で呼びかけていく。

環境アセスメント 公開どうするのか

問 昨年十二月に策定された「奈良市環境影響評価技術

指針」は環境アセスメントの命とも言える市民への公開が抜けている。今後、技術指針の改善を検討しないか。

答 この技術指針は公害対策審議会や議会にも諮り環境アセスの実施上の基本的な事項や技術的な事項を定めたもので、それに基づいて行政指導をしていくというものである。現在、専門職の養成、具体的な情報伝達の方法、公開の方法等を検討中であるが、先般、環境庁が出したゴルフ場のアセスの方法も本市の内容とはほぼ同じであり、当分の間この内容で対応したい。

なお現在まとめている大柳生カントリークラブの環境アセスについては、公害対策審

議会に諮り、議会の常任委員会等に説明したい。

ごみ処理

排出抑制の推進 環境保全を重視

問 新たなリサイクル法の成立などにより、清掃行政は大きく変わろうとしている。市長はごみ問題の解決は最重要課題であると言われていたが、法の改正を受け、関係条例の見直しのポイントと時期

をどのように考えているのか。

答 法の改正に伴い条例の見直しを進めている。内容は排出抑制、リサイクルなどによる環境保全を重視した廃棄物の適正処理の推進を基本的な考えとしている。また、排出量の伸びが著しい事業系ごみの手数料等についても検討していきたい。条例の改正案については、十二月定例会か来年三月定例会に諮りたい。

福祉

専用ベッドや専門施設を 立ち遅れる痴呆性老人対策

問 高齢

化が進む中、特養ホーム入所希望者は激増し、現在待機者は百二十名にも及んでいる。国のゴールドプランに基づくと奈良市では特養ホームは五百七十床必要となるが、現在あるのは二百六十床だ。和楽園



和楽園老人ホームが進む介護計画で建て替えていく

ベッドの併設やあるいは、医学的管理ができる公設民営型の痴呆性老人専門施設を建設する考えはないか。

答 今回養護老人ホーム和楽園が移転するに伴い、特別養護老人ホームを併設させていただくが、今後市が特養ホームを建設していくかについては、これからの課題とする。民間で設置の希望もあるので、その方に依存していきたい。

痴呆性老人施設は和楽園の建設管理ができる公設民営型の痴呆性老人専門施設を建設する考えはないか。

痴呆性老人施設は和楽園の建設管理ができる公設民営型の痴呆性老人専門施設を建設する考えはないか。

シルバー健康センター建設

問 二十一世紀の前半には我が国人口の四分の一は高齢者で占めることになる。ゴールドプラン実現へ向けての対応は。またシルバー健康センターの構想は。

答 超高齢化社会を迎える一方、核家族化の進行等で家庭での介護力の低下が進み、介護ニーズは急速に高まると見込まれる。そのため将来必要とされるサービスの提供体制を計画的に整備していく必

要がある。平成十一年までの目標を定めた老人保健福祉計画を今年度中に策定し、年次的に整備を図ることで二十一世紀の超高齢化社会に対応する基盤づくりをしていきたい。さらに高齢者にいつまでも家庭で健康に暮らしていただくため、在宅福祉を主にした考えのもと、健康検診を行う場所としてシルバー健康センターを近い将来建設してまいりたい。

障害者の福祉計画

問 障害者福祉は障害者だけの問題とせず、社会全体の問題として取り組まなければならない。今後施策を進めていく上で市の指針となるべき長期計画が必要と考えるが策定の考えは。

答 障害者福祉に対する基本的な考え方は、障害者が家庭や地域で健全者と同じような日常生活ができるような社会の実現である。そのためには障害者のニーズを十分把握して独自の計画を立てていくことが必要である。今後、県の「心身障害者福祉に関する長期計画」などと整合性を図りながら市の長期計画の策定を検討していきたい。

公営企業特別委員会審査概要

九月二十五日、二十九日、三十日、十月一日の四日間にわたり公営企業決算特別委員会で審査し認定した三公営企業会計決算は、宅地造成事業費特別会計で六億二千三百八十七万円、水道事業会計で二億四千八百八十四万円(消費税処理前)、簡易水道事業会計で八百八十七万八千円(消費税処理前)のいずれも黒字となっています。以下は、委員会審査の主な内容です。

水道会計

今後の水道料金はね返り少なく

問 料金改定を含め、今後の水道料金をどのように考えているのか。

答 平成五年度において料金の審議会を設置し、平成六年度予算編成時までに結審したい。改定率は、布目ダムの利水負担金が、二十三年間毎年約十七億円収益勘定に乗っかってくるのでその上乗せをして二〇%台と考えている。家庭へのはね返りは少なくなるように努力したい。消費税については次期料金改定時に転嫁をしたい。

基幹施設重点に 東部上水道整備

問 東部地域における上水道整備はどのように進めるのか。

答 国庫補助対象事業として、平成十二年度を目標に整備を進めている。平成七年度

までの前期五カ年計画で配水池・ポンプ所等の基幹施設を重点的に整備するため、本年度にその用地を買収し、事業を推進したい。生活用水系を優先するという基本が変わりはしない。

自前の水が一番

問 釜生ダムからの県水は水質検査の結果も発表されず、また値上げも言われている。県水の受水を減らしていく考えはないか。

答 県水の水質については、安全な水を送っていただいていると理解しているが、自前の水を飲んでもらうのが一番理想である。昨年二千五百トン減らして今三万トンにしているが、配水網を整備して県水を漸減方向にコントロールしていきたいと考えている。

環境アセスのチェック

問 環境アセスメントの手順と大柳生カントリークラブの水質関係の環境アセスメントのチェックはどのようになっているか。

答 環境影響評価技術指針で決められた環境保全項目をおのおの専門の担当課で検討し、すべてがまとまれば公害対策審議会に付議をして専門家の御意見もいただく。また大柳生カントリークラブについては、影響を受ける環境要素の抽出等作業手順の各段階においてそれぞれチェックを行い、農業の使用等についてはさまざまな要望・意見をつけるなど、精いっぱい踏み込んで中身を検討した。

ゴルフ場の影響 水道局独自調査を

問 水道局独自にゴルフ場に起因する保水力の低下・濁りの発生や、芝生への施肥・除草剤等の散布による水道水への影響など調査・研究する必要があるのではないか。

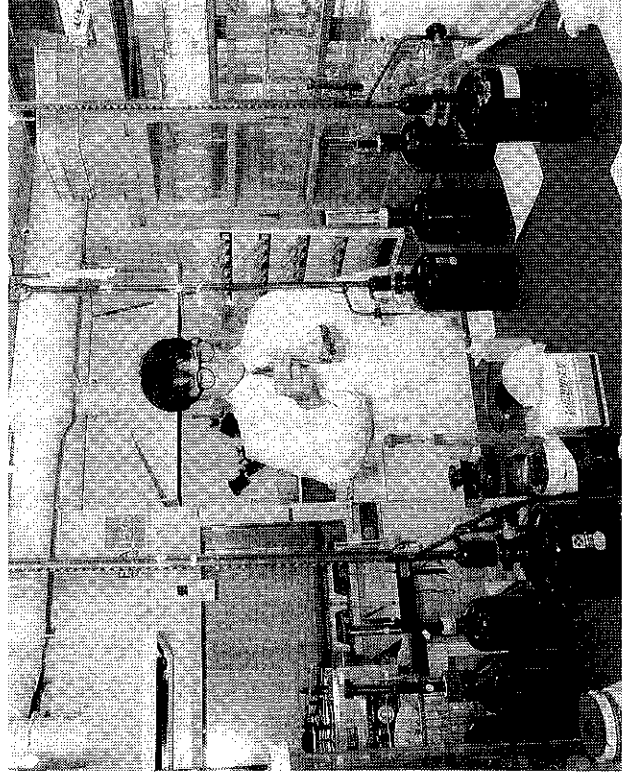
答 水質に関して、学識者を含む水道水質管理研究委員会を持っており、今後どのように発展的に運用していくかについて、一定の方針を定め、検討したい。

- 公営企業決算特別委員
委員長 松田 木作
副委員長 福住 昭之亮
岸 宏明 原田 栄子
荻田 義雄 福西 靖
島崎 光治 黒川 恵三
日和 稔甫、中西 義次
西岡 憲孝 中村 重信
樹杉 和彦 東田、 坦

検査基準見直し

問 国で水道水の検査基準の見直しが言われている。奈良市の検査機器やスタッフの充実策はあるのか。

答 厚生省の基準検査項目が、八十から百近くに改定されるとの情報もあり、自前の検査が可能かを検討している。機器整備においては可能であり、またスタッフは現在の十名に来年度二名程度を加える。



安全でおおいしい水の供給に欠かせない水質検査

微生物浄化実験プラント

問 微生物浄化実験プラントの今後の進め方はどうなるのか。

答 原水中の有機物、アンモニア性窒素等の物質を微生物の浄化能力により低減し、安全でおいしい水の供給を目指すものである。今年度はデンプンの構築・収集を行い、本年度末に取りまとめ、次年度以降の実験計画を検討したい。

使用農薬にC類

問 既設ゴルフ場の使用農薬の中にC類の農薬もある。どう指導するのか。

答 既設ゴルフ場に対しても水道水源保護指導要綱に準じて行政指導しているが、一度に農業除去装置等の施設改修を求めるのは難しい。水源保護の趣旨を理解願うべく、支配人会にも協力を要請している。

水のリサイクル研究 水質保全に努力

問 節水及び水行政に対して今後どのように取り組むのか。

答 水のリサイクルについて研究したい。また東部地域の森林を守るため「東部ゾーン」における大規模開発に関する基本方針で断止めをかけることともに、環境アセスの技術指針、さらに下水道等、水源・水質の保全を行いたい。

布目ダム北東岸活用

問 布目ダム北東岸の水資源開発公団所有土地の活用策は。

答 公団との間で土地の無償貸与を取り交わした。ダム全体の周辺における構想の調査を委託しており、さらに温泉の概況調査を行っている。

宅地造成会計

事業目的の条例改正

問 宅地造成で取得した街路用地で長期にわたり保有している土地がある。また代替用地取得の目的で再出発したとも聞いているが、根拠条例の事業の目的を改正し、きちんと運用するべきではないか。

答 公共用地の先行取得と代替用地の取得及び積水の移転用地の確保を目的として再出発した。現時点では土地開発公社で先行取得する場合は、少なくとも国庫補助、起債が適用し得るものに限定している。今後運用面において十分調整を図りたい。

- ▽一般会計他三特別会計補正予算
 - 奈良ファミリー内の市民サービスコーナー開設経費等
- ▽奈良市退職年金等の年額
- ▽工事請負契約の締結について
 - 土木管理センター事務所棟改築工事、高雄南・飛鳥・登美ヶ丘北各中学校校舎増築工事、中央武道場改修工事、公共下水道高畑分水幹線築造工事
- ▽町の区域及び名称の変更について
 - 二名町の一部を西登美ヶ丘一丁目に変更
- ▽財産の取得について
 - 高規格救急自動車、救助工作車の取得

その他 九月議会決まった

の改定に関する条例の一部改正について
恩給法の一部改正に伴う改正 改定率三・八四%
高規格救急自動車、救助工作車の取得

議会日誌

- ☆七月
 - 9日 議会だより編集委員会
- ☆八月
 - 1日 議会だより第31号発行
 - 31日 都市基盤整備特別委員会
- ☆九月
 - 3日 教育厚生委員会
 - 7日 経済水道委員会
 - 8日 企画建設委員会
 - 17日 内示会
 - 議会運営委員会
 - 22日 総務財政委員会
 - 24日 本会議(九月定例会開会)
 - 25日 本会議
 - 公営企業決算特別委員会
 - 28日 本会議
 - 29日 公営企業決算特別委員会
 - 30日 会
- ☆十月
 - 1日 公営企業決算特別委員会

編集後記

一面には秋を彩る奈良市阪原町のコスモス畑の写真を掲載しました。進行中の圃場整備の転作田を利用したもので、圃場整備実行委員会はじめ地元の方々の御努力のかいあって四畝の広い土地一面に大輪の花を見事に咲かせました。澄み渡る秋空の下、たくさんの方が訪れ、赤・白・桃とかれんなコスモスをカメラに納めていました。新しい名所として、来年も多くの人々の目を楽しませてくれることでしょうか。

